

科目ナンバリング		U-LAS04 10001 LJ47										
授業科目名 <英訳>		教育学Ⅰ Pedagogy I					担当者所属 職名・氏名		非常勤講師 久保田 健一郎			
群	人文・社会科学科目群				分野(分類)	教育・心理・社会(基礎)			使用言語	日本語		
旧群	A群	単位数	2単位		週コマ数	1コマ		授業形態	講義（対面授業科目）			
開講年度・ 開講期	2025・前期		曜時限	木3			配当学年	全回生		対象学生	全学向	
[授業の概要・目的]												
本授業は、学校教育を軸として、近代以降の日本の教育の概観、学校教育を支える思想やその歴史、現代の教育の諸問題を学んでいく。その際に教育人間学のアプローチを採用する。教育人間学とは、教育に関して自明に思われていることを、その根底から疑って考察するものである。こうしたアプローチによって、教育に関する事象をより深く理解することが可能になる。												
[到達目標]												
・日本の学校教育についての歴史と現状を理解する。 ・学校教育を支える思想、歴史を理解する。 ・学校教育に関する現代的諸問題とその背景について理解する。												
[授業計画と内容]												
基本的に以下の計画に従って授業を進めるが、講義の進行具合によって、講義回数が異なることがある。 1. 教育とは何か 2. 日本教育小史①　－前近代から近代へ－ 3. 日本教育小史②　－ポストモダンにおける教育－ 4. 教育必要性について①　野生児の事例の紹介 5. 教育必要性について②　野生児の事例の考察 6. 近代教育の思想 7. 子ども観の歴史とこれから 8. 子どもたちの力学①　－スクールカーストの事例から－ 9. 子どもたちの力学②　－スクールカーストの考察－ 10. ゆとり教育の理念と実際 11. 学力とは何か 12. 乳幼児の教育 13. 現代の教師 14. 新自由主義と教育・諸外国の教育の動向 15. フィードバック（フィードバック方法は別途連絡します） 授業回数はフィードバックを含め全15回とする												
[履修要件]												
特になし												
----- 教育学Ⅰ(2)へ続く↓↓↓ -----												

教育学Ⅰ(2)

[成績評価の方法・観点]

平常点（50点）と期末レポート（50点）で評価します。平常点は課題提出（25点）と授業への参加度（25点）に応じて評価します。期末レポートは、到達目標の達成度に基づき評価します。期末レポート提出のみで単位が出る授業ではないことを理解した上で、受講して下さい。

[教科書]

PandAに授業資料を提示します。

[参考書等]

（参考書）
授業中に紹介する

[授業外学修（予習・復習）等]

日頃から教育のみならず、幅広く社会問題に興味を持つことが最大の予習です。復習は紹介した参考文献などから、各自深めていってください。

[その他（オフィスアワー等）]

授業内容に関心がある方のみ受講して下さい。例年、履修者が多く、抽選になりやすい授業ですので、単位取得のみに関心がある学生の受講はご遠慮ください。
授業方法に関しては、講義が中心になりますが、映画鑑賞、グループワーク、課題提出を織り交ぜた授業になります。

[主要授業科目（学部・学科名）]